

高松、新興の海外展開担う 増える高度外国人材

中国でも専門的な技術や知識を持つ高度外国人材が急増している。島根県や山口県の伸びが全国トップ10に入るなど、優秀な人材確保に悩む地方にとって地域活性化の頼みの綱になりつつある。香川県ではスタートアップの創業や事業強化で活躍する。金融機関もコンサルティングで取引先支援に動いている。

データで読む 地域再生

島根県は生産年齢人口10万人当たりの高度外国人材の数(2021年)が16年比で2.51倍だっ

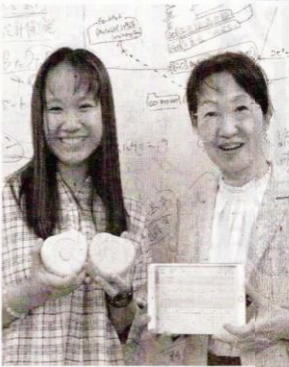
高度外国人材が大きく増えている (生産年齢人口10万人当たりの人数変化)		
島根県	2.51倍	全国9位
山口	2.50	10位
岡山	2.35	14位
徳島	2.05	25位
香川	2.00	27位
高知	2.00	27位
広島	1.69	39位
鳥取	1.66	40位
愛媛	1.56	44位

(注)21年、16年比。出所は総務省「人口推計」と法務省「在留外国人統計」

た。中山間地の中小製造業が積極的に活用する。砲弾型発光ダイオード(LED)製造のトリコン(邑南町)はベトナム人6人、バングラデシュ人1人を雇用する。ベトナム人雇用の妻2人もパートで採用。パートを含む全従業員33人の4分の1以上が外国人だ。砲弾型LEDは大手が手掛けない隙間産業で、様々な企業から多様な注文が届く。多品種少量生産のため製造原価が高く、製造ミスは大きな損失を招く可能性がある(上田康志社長)。「ベトナムからは優秀な人材が来る。手先が器用で優秀な人材が必要だ。かつては国内の学生の確保にも動いたが集まらず、19年から国外に目を向けた。」

製品や発想に共鳴

北欧出身で創業の例も



製品を手に話すメロディ・インターナショナルのギョカンネさんと尾形CEO

新谷耕実・シッブファインナンス室長は「饒さんは日本語だけでなく英語と中国語が話せるうえ、日系企業で貿易業務など

な大学を卒業した人材が来てくれている(同社長)といい、同国からの6人に重要な製造工程2カ所を任せている。このほど島根大学大学院を卒業して採用したバングラデシュ人男性には「英語に堪能な彼の力を借りて海外市場も開拓したい(同社長)と期待する。山口県では山口フィンシャルグループ(FG)が3月、香港出身の饒光敏さんを採用した。海事産業向け船舶融資(シッブファインナンス)を手がけるシッブファインナンス室で管理職として働く。

の経験が豊富。大幅な戦力アップ」と強調する。社内では「エリックさん」と呼ばれ親しまれているという。

山口FGは中期経営計画で多様な人材の活躍推進を掲げており、経験者採用の強化は取り組みの一つだ。迫田寛和・人財開発室長は「専門性の高い人材は国籍や性別に関係なく積極的に採用したい」と話す。

四国では徳島、香川、高知の各県で高度外国人材が2倍以上になった。高松市ではスタートアップが目立つ。妊婦の遠隔医療システムで知られるメロディ・インターナショナル(高松市)。経営企画部プロジェクト開発課で働くインドネシア出身のギョカンネさんは海外事業展開を担う。

マレーシアの大学で学んだ後、来日して山梨県で日本語を学んだ。就職活動で紹介されたのが同社だった。「製品やアイデアに関心を持った。日本で一番小さな県の中で技術がある。素晴らしい」と感じて22年に入社した。

同社が製品販売のプレゼンテーションを課したところ、「センスがある。能力を発揮できる(尾形優子・最高経営責任者・CEO)」と評価し、

東南アジアの市場開拓を任せている。

IT(情報技術)企業のDreamly(ドリムリー、高松市)を創業したラッシュ・ラッシュンさんは、スウェーデン出身だ。王立工科大学でコンピュータサイエンスを学び、企業で先端技術のスキルを磨いた。東京の企業とリモートで仕事をしていた際、「海外では使われていなかった。海外とは5年ぐらい差がある」と驚き、成功できるとみて19年に同社を立ち上げた。世界基準でシステム・アプリ開発やコンサルティングをする。高度外国人材も採用し業務を拡大している。百十四銀行は外国人の採用支援を手がける企業と業務提携を結んでいる。22年4月にコンサルティング部を新設し人材確保もサービス項目にしている。高度外国人材を意欲して「サービスのラインアップを増やしている」という。

(鉄村和之、古宇田光敏、竹内雅人)

スマートフォンでQRコードを読み込むと、電子版「データで読む地域再生特設ページ」をご覧いただけます。